

【令和5年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R5年度)	R5実績値 (R5.12月末時点)	詳細	次年度方向性	懇話会コメント
I 男女共同参画の理解促進	1 男女共同参画に関する情報提供・啓発	1	男女共同参画コーナーの設置回数	文化スポーツ課	3回/年	1回/年	男女共同参画に関するパネル展の開催 期間：令和5年8月25日（金）～9月3日（日） DV・デートDV、ワークライフバランス、LGBTに関するパネルを展示したほか、関連図書やリーフレットを設置した。多くの方の目に触れるよう、町公民館の1階ホールに設置した。		
		2	男女共同参画という言葉と意味を知っている人の割合	文化スポーツ課	55.0%	—	アンケート未実施のため	男女共同参画学習会等でアンケートを実施する	
	2 幅広い年代に対する教育と学習の推進	3	岩手県男女共同参画サポーターの認定者数【累計】	文化スポーツ課	累計31人	計34人			
		4	岩手県男女共同参画サポーターの活動支援回数	文化スポーツ課	2回/年	2回/年	男女共同参画学習会の実施 町内男女共同参画サポーター、懇話会委員、男女共同参画に関心のある町民を対象とした講座を開催。 ①令和5年8月31日（木）午後2時～午後3時30分 県男女共同参画センター職員による性的マイノリティの方への理解と支援に関する講演をいただいた。 ②令和5年12月1日（金）午後2時～午後4時30分 信幸プロテック株式会社の村松直子様、NPO法人ファザーリング・ジャパン東北の佐々木護様に働き方改革に関する講演をいただいた。		
		5	男女共同参画に関する学習を実施した町立学校の数	学校教育課	6/6校	6/6校	・思春期保健教室 ・社会科、家庭科、保健体育科、道徳、特別活動等による教科横断的な学習を実施	継続	
1 意思・方針決定過程への女性の参画拡大	6	審議会等委員に占める女性の割合（矢巾町長部局行政組織規則第13条、矢巾町教育委員会行政組織規則第18条）	全庁（集計：文スポ）	31.0%	30.9%				
	7	各種委員会や会議等の役員選出におけるクォータ制の導入率	全庁（集計：文スポ）	10.0%	実績なし				
	8	町職員管理職に占める女性の割合	総務課	20.0%	6.3%				
	9	行政区長に占める女性の割合	企画財政課	6.0%	2%	行政区長41名 うち女性行政区長1名	行政区長はR5年度末をもって廃止	女性行政区長が全行政区の中で、1名のみいる。その区から勉強しなくてはならない。	
	10	町議会議員に占める女性の割合	議会事務局	27.8%	27.8%	令和5年4月23日に矢巾町議会議員選挙が行われ、18名のうち5名の女性議員が当選した。	女性が議員活動をしやすい環境整備を検討する。		
	11	町農業委員に占める女性の割合	農業委員会事務局	12.0%	12.5%	農業委員16名（うち女性農業委員2名）。 3年に1度の改選のため、前年度と同数値。 改選は公募のため、次回改選に向け、女性を推薦する地域が増えるよう啓発している。	令和5年度は改選なしのため、現状維持。		
	12	公民館を活動拠点とするサークルのうち女性が代表を務めるサークルの割合	文化スポーツ課	70.0%	78.1%	公民館を拠点とするサークル55団体のうち、43団体で女性が代表を務めている。			
	13	町職員男性の育児休暇取得率	総務課	5.0%	33%				

【令和5年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R5年度)	R5実績値 (R5.12月末時点)	詳細	次年度方向性	懇話会コメント	
II 様々な分野における男女の 参画拡大	2 ワーク・ライフ・バランスの実現	14	町職員男性の介護休暇取得率	総務課	5.0%	0%				
		15	地域において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	31.0%	—	アンケート未実施のため	男女共同参画学習会等でアンケートを実施する		
		16	家庭において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	62.0%	—	アンケート未実施のため	男女共同参画学習会等でアンケートを実施する		
		17	子ども会育成会連合会主催の親子創作活動のうち父親（祖父を含む）の参加率	文化スポーツ課	15.0%	0.0%	1月6日（土）開催。参加児童及び保護者51名。父親（祖父含む）の参加者は0人。 内訳は 手芸コース 児童4人。保護者（女性）4人。 フラワーアレンジメント 児童5人。保護者（女性）5人。 羊毛フェルト 児童16人。保護者（女性）13人。 バスボム 児童2人。保護者（女性）2人。		・民間企業に勤務している男性だと土曜日に働いている方も多い。 ・男性が参加しやすい企画にすることで男性が参加しやすくなるのではないかな。 ・広報を工夫することで男性を呼びこむことができるのではないかな。 ・男性に参加してもらうことで男性の子育て参加につながる。	
	3 多様な働き方の促進に関する支援の充実	18	町職員女性のキャリアアップ研修の受講者数	総務課	2人/年	3人				
		19	離職者を対象とした職業訓練における女性の再就職率	産業観光課	34.0%	12.5%				
		20	家族経営協定の締結数【累計】	産業観光課	累計79件	78件				
		21	職場において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	38.0%	—	アンケート未実施のため	男女共同参画学習会等でアンケートを実施する		
	1 生活上の困難に対する支援の推進	22	生活支援コーディネーターの配置人数	健康長寿課	5人/年	5人/年	1層 町社会福祉協議会に委託（1人） 2層 町内の4つの社会福祉法人に委託（4人）			
			障がい者の不利益に対応する相談窓口職員研修の受講者数	福祉課	1人/年	1人/年	令和6年2月15日岩手県社会福祉協議会開催の配信による研修に参加予定	継続		
2 子育て・介護支援の拡充		24	子育て講習会・赤ちゃん講習会の参加世帯数	子ども課	160世帯/年	452世帯	町内3ヶ所にある地域子育て支援拠点において月1回（内1ヶ所は年齢別に月3回）開催。令和4年度同様、年齢別の開催を継続したことにより、目標値を上回る実績となっている。	継続		
			子育てボランティア・子育て助け隊の登録者数【累計】	子ども課	累計25人	8名	年2回子育てサポーター研修を開催。研修参加者にボランティア登録を勧めている。	継続		
		26	介護予防教室（出前講座、公民館型、えんじょいセンター）の参加者数【合計】	健康長寿課	延べ720人/年	延べ1053人 （介護予防教室618人、出前講座90人、えんじょいセンターでのさわやか体操クラブ345人）	公民館型介護予防教室2/19、20、27実施予定。			
		27	家族介護者教室の参加者数（地域包括支援センター主催）	健康長寿課	15人/年	0人/年	当初は実施予定であったが開催せず。			
28		子宮頸がん検診の受診率	健康長寿課	47.0%	23.6%	子宮頸がん検診受診者：653名 ※R6.1.25時点の受診予約者数：796名 ※R6.3.14まで実施予定				

【令和5年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R5年度)	R5実績値 (R5.12月末時点)	詳細	次年度方向性	懇話会コメント
Ⅲ安心安全な暮らしの実現	3 男女における健康支援	29	乳がん検診受診率	健康長寿課	48.0%	28.6%	乳がん検診受診者：691名 ※R6.1.25時点の受診予約者数：829名 ※R6.3.14まで実施予定		
		30	一般及び特定不妊治療費の助成数【合計】	健康長寿課	30件/年	延べ2件/年	一般不妊治療：2件 特定不妊治療：0件 令和4年4月1日～不妊治療が保険適用となったため、令和4年3月までに治療を開始したものが対象となっている。		
		31	マタニティひろばの参加世帯数	健康長寿課	延べ50組/年	延べ16組/年	1コース：5組 2コース：11組		
		32	通いの場体操クラブの登録者数【累計】	健康長寿課	累計320人	累計388人			
		33	青松学園大学会員のうち全講座に出席した会員の割合	文化スポーツ課	25.0%	—	出欠を取っていないため		
	4 防災における男女共同参画の推進	34	女性役員がいる自主防災会の割合	総務課	100.0%	100%	自主防災会ごとに副会長、公民館長、保健推進員、班長等の役員に積極的に登用している。	女性役員の比率向上	
		35	女性消防団員がいる消防団の割合	総務課	100.0%	100%	女性消防団が避難所開設・運営訓練や救命・救護訓練及び普通救命講習等で活躍している。		
		36	町内防災士に占める女性の割合	総務課	15.0%	27.60%	矢巾町防災士130名のうち女性防災士は36名育成した。	防災に女性の視点を取り入れるため、積極的な参加の助長	
		37	町防災訓練の参加者に占める女性の割合	総務課	23.0%	13%	訓練参加人数は、310名。 そのうち女性の参加者は、40名。	防災に女性の視点を取り入れるため、積極的な参加の助長	
	Ⅳ多様性の尊重とあらゆる暴力の根絶	1 多様性を尊重する意識づくり	38	学校における思春期保健教室の開催回数	学校教育課	8年/年	7	学校保健会の事業として小学5年生、中学校全学年対象に実施。	継続
39			性的指向、性自認の尊重を題材とした学習を実施した町立学校数	学校教育課	6/6校	6/6校	思春期保健教室のほか、小学校では、道徳科の「個性の伸長」の内容項目を扱う中で、自分の特徴に気づき長所を伸ばすことに関する学習を各学年に位置付け学習している。	継続	
40			学校における人権教室の開催回数	学校教育課	14回/年	6回	・人権擁護委員からいただいた「人権の花植え」、「人権の花の世話」 ・全校朝会での「世界人権の日」周知、「人権週間」期間中に校長による講話 ・人権作文への取組 ・生徒会による「仲間づくり」「いじめ防止対策」の取組	継続	
41			人権擁護委員による特設相談会の開催回数	福祉課	12回/年	12回/年	毎月第1金曜日	継続	
42			LGBT等、セクシャルマイノリティに関連した言葉と意味を知っている人の割合	文化スポーツ課	58.0%	—	アンケート未実施のため	男女共同参画学習会等でアンケートを実施する	
2 暴力等を許さない環境整備と理解促進		43	配偶者暴力相談支援センターや警察で相談や保護を行っている人の認知件数	福祉課	10件/年	5件/年		継続	
		44	DV予防に関する学習を実施した町立学校数	学校教育課	3/6校	2/6校	学校保健会の事業として中学生対象に実施。	継続	